

2007-2008 RI Presidents
Wilfrid J. Wilkinson



＜本年度クラブ会長方針＞

ENJOY ROTARY ふたたび

第1154回例会

世界理解月間

於 名古屋東急ホテル
平成20年2月28日(木)

出席計算数 62名中50名出席
出席率 80・65%

前々回出席率 100・00%

ロータリーソング 「ROTARY-RY」

指揮者 川口 小折
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

税理士法人トーマツ
パートナー 加藤 正和さん
(名古屋西RC)

ニコボックス

岡部さん宗務総長就任おめでとう
ございます。

堀江 英弥・前田 隆久
加藤正和先生、卓話を楽しみに
しています。

加藤 正樹・小野 定男
加藤正和さん、卓話ごくう様
です。卓話を楽しみにしています。

ゴルフ景品注文、ありがとうございます
でした。 高木 政義
田近 健也

おかげさまで、今月弊社創業90周年を迎えました。吉田 隆彦
妻の誕生日です。新沼 操
22日高木さんからマイケルをあずかりました。マイケルは日本語
僕は英語の勉強、楽しくやっています。 岩崎 征一



会長挨拶

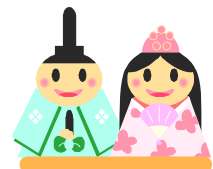
会長 堀江 英弥

こんにちは、先週は梅の話をしましたので、今週は桃の節句について少しお話をさせていただきます。

3月3日は桃の節句。日本には五つの節句があります。人日(じんじつ) 正月七日七草がゆ・上巳(じょうし) 三月三日桃の節句・端午(たんご) 五月五日端午の節句・七夕(たなばた) 七月七日七夕祭り・重陽(ちようよう) 九月九日菊の節句。

平安時代、桃の節句には野山に薬草を摘み、桃の花びらを浮かべ酒を飲んだりして無病息災を願いました。中国伝来思想として、桃には魔よけの力があるとされ、この日は禊祓の日とも考えられます。

した。宮中の紙の着せ替え人形で遊ぶ「ひいな遊び」から紙人形を川へ流してけがれや災いを川に流し不浄を祓つ「流し雛」となり、やがて「雛祭り」が生まれました。



室町時代になると桃の節句は3月3日に定着して、紙の雛から豪華な雛人形を飾って祝うようになり、宮中から武家社会へと広がり、裕福な商家へと広がり今日の雛祭りへとつながりました。

また、お供えの菱餅の赤い餅はくちなしが含まれ解毒作用があり、白い部分は血圧降下作用が、緑の餅の蓬は造血作用があり、当時の健康食品でした。

雛祭りの話で会長挨拶にかえさせていただきます。

07~08年度 会員増強推薦者バッチ贈呈

吉田 憲一さん



卓話

「新しい事業承継対策について」

税理士法人トーマツ
パートナー 加藤 正和さん



一昨年来中小企業庁を中心に中小企業の事業継続を支援する方策が検討されてきました。

昨年6月自民党の小委員会では原案が作られ12月に与党税制改正大綱として発表されました。

一方、会社法改正に伴い各税法も改正され、種類株式を業務で活用することができるようになりました。

事業承継は多面的な視点で捉えねばならないのですが、今年10月から施行されるであろう事業承継円滑化法(仮称)は1つの力になると考えられます。

税金だけではない、個人は納税資金がないが、自社株式があり、その評価額に相続税を課せられるという悲劇を軽減するためには、事柄の本質を知ると同時に、与えられている制度を十分理解すれば

対応はできません。思います。
 本日は、種類株式の利用例や事業承継税制の見直し概要をお話致しました。(要約)

ロータリー
 ミニ知識



「徽章」The emblem

1905年シカゴロータリー・クラブ会員モントギュー・ヘアの考案により、馬車の輪をかたどった徽章が作られたのが最初である。1912年に歯車が採用され、1920年にこの図案を受け入れ、1921年に公式に採択された。1923年に楔穴が加えられ現在の如くなり、1929年この徽章の公式仕様が採択された。(要81年版p.148) (ロータリーの歯車の歴史より)
 RIの公式徽章は、6本の幅と24の輪歯および一つの楔穴のある歯車である。“Rotary”の文字は上方の窪み、“International”

2月

ロータリー財団
寄付金報告

前月まで	0円
2月分	39,480円
累計	39,480円

の文字は下方の窪みにある。色は窪みの部分がロイヤルブルー、輪及び文字は金色である。米国税務局の登記原簿に奉仕団体のマークとして登録されている。改造・修正等は禁じられている。ロータリーとその家族には、この徽章を着用する権利が与えられている。(国電13、国編18)(電153-155)



3月13日(木) 例会のご案内

クラブフォーラム
 地区委員会報告

「地区の活動」

広報委員会

- 内藤 明
- 小島 雅尚
- 犬飼 芳雄
- 近藤 宏一郎
- 杉浦 令淑
- 長野 弘



E-mail from **ITALY & ZIMBABWE!**



大須、及び2760地区のロータリーの皆さま、おはようございます！お元気ですか？
 12月終わりごろからのジンバブエでの研修の際はたくさんの応援メッセージをどうもありがとうございました。おかげさまで大変有意義な時を過ごすことができ、1月末に後ろ髪を引かれながらボローニャに戻ってきました。そしてあっという間に一ヶ月が過ぎようとしています 笑

帰国してから、大須のクラブの方々で集めてくださり私の口座に振り込んでくださったのご報告を受けました。後日、163,59ユーロが振り込まれたとこちらの銀行から通知がありました。どうもありがとうございました！！！！私が実習を行った孤児院で生活する子どもたち一人ひとりに必需品の何かを渡してあげられるように考えてロータリークラブや孤児院のシスターとも相談しながら、間違いなく金額が子どもたちのために使われるようなかたちで活用させていただきます！私としては歯ブラシに子どもたちのそれぞれ名前を書いて、一人ずつにあげたいのですが、歯ブラシは個別包装をすでにされているので歯ブラシの柄に私が名前を書くのが難関なんですよね… 笑私が持つていくのであれば、現地で名前を書いてから渡してあげればいいのですが 笑何はともあれ、使い道が決まり次第またご報告いたします。

孤児院を支えているハラレシティロータリークラブのメンバーはイタリアや日本のクラブとともに将来に渡って子どもたちを支えていくことにとっても興味を示していらっしゃいました。マッチンググラントも喜ばしいとのこと。今後の援助につながればという願いも込めて、ジンバブエの実習レポートを書き、イタリア語版は先々週、ガバナーがボローニャ東クラブにいらした際、ガバナー、クラブ会長、コーディネーターのファビオにお渡しいたしました。留学当初からお世話になっている05-06年度ガバナーにもお渡しいたしました。ロータリー用に作成したのですが、卒論の担当教授やジンバブエの実習のためにいろいろと協力してくださった方々にもお渡しいたしました。英語版はハラレのクラブや協力してくださったボローニャインターナショナルスクールなどにお渡しする予定です。そして日本語版は大須、2760地区の皆さまにお送りいたします。急いで書いた上に、書きっぱなしの状態なので誤字・脱字や言葉に無理があるかと思えます…、大変申し訳ありません…。

(中略) 今度の週末、イタリア人のロータリー奨学生たちの大きな集まりがボローニャで行われます。学友やこれから留学予定の学生たちがイタリア各地から集まってくるようです。2日に渡って行われるこのプログラムの中で、2日目の日曜日、イタリアで勉強する奨学生の声として5分から10分、講演をするように頼まれています…。光栄なことですが、えらいこっちゃでもあります 笑

以上、近況も含め、ご報告でした。
 いつも支えてくださりありがとうございます。

澤屋 奈津子



(写真:「ジンバブエ 実習レポート」より)